

# やまとの環境

## 概要版

— 環境基本計画年次報告書 —  
平成26年度版（平成25年度実績報告）



平成25年10月 やまと みどりの学校プログラム・引地川調べをしよう（引地台小学校）

# 大和市

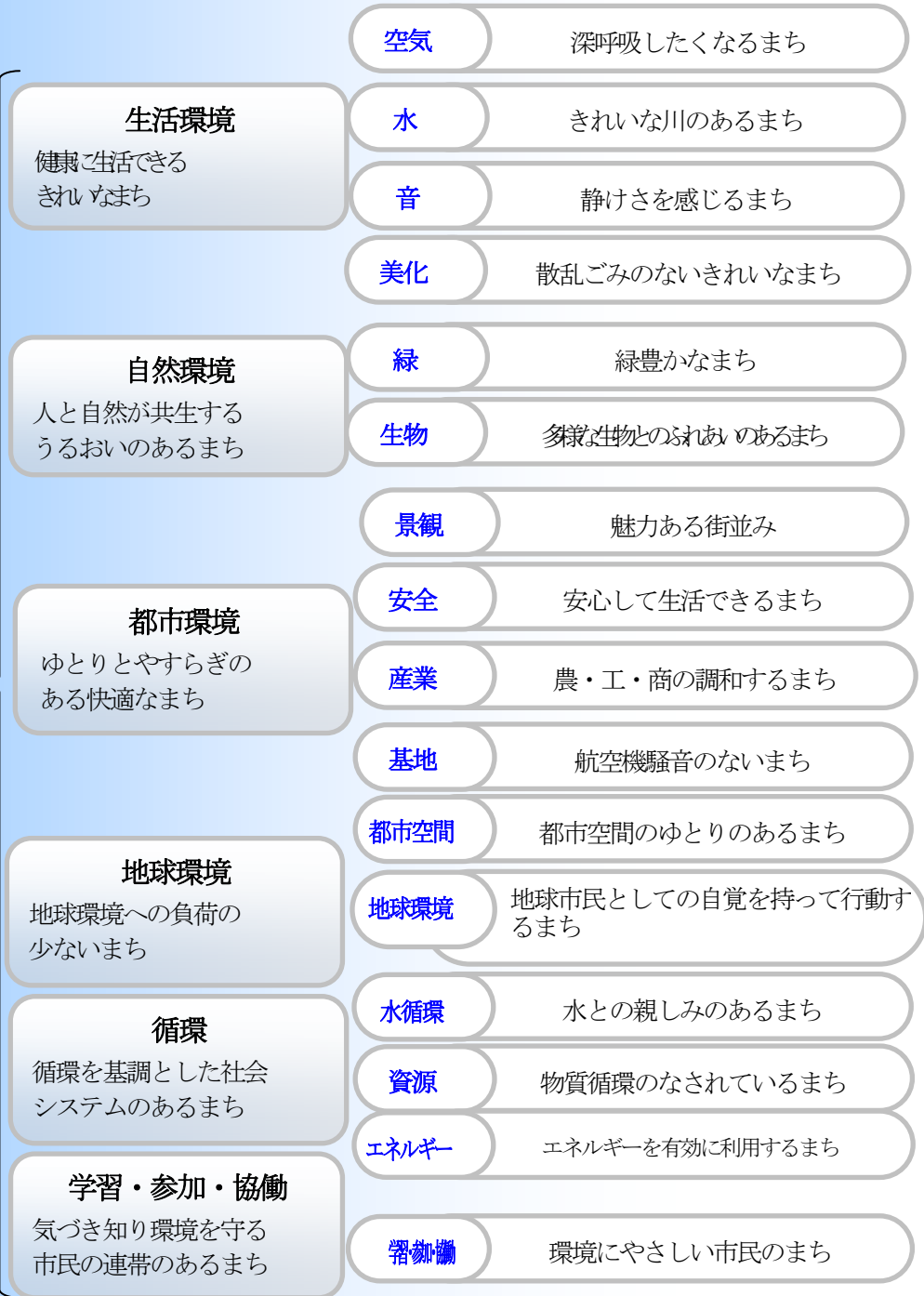
## やまとの環境（大和市環境基本計画年次報告書）について

やまとの望ましい環境像、「自然の恵みを取り入れた、健康に生活できる、一生を安心して暮らせるふるさと」の実現のために、大和市では平成11年度に環境基本計画を策定しました。平成19年度には、目標設定水準や施策の見直し、とりわけ地球温暖化対策の推進などを踏まえ、改定しました。

本計画では、目標の達成度や、施策の進行状況を定期的に把握・評価し、必要に応じて見直しや修正を行っていきます。このことから、やまとの環境の現況と、環境基本計画に基づく施策の進行状況等を明らかにするため、ここに年次報告書として取りまとめ、公表することにより、情報の公開と共有を図るものです。

自然の恵みを取り入れた、健康に生活できる、一生を安心して暮らせるふるさと

望ましい環境像の実現



《指標項目についての進捗状況の一覧》

- 目標値は概ね平成29年度のものです。
- 達成度
  - ：目標を達成している
  - △：目標は達成していないが、前年度と同水準又は目標に近づいている
  - ×：目標から遠ざかっている

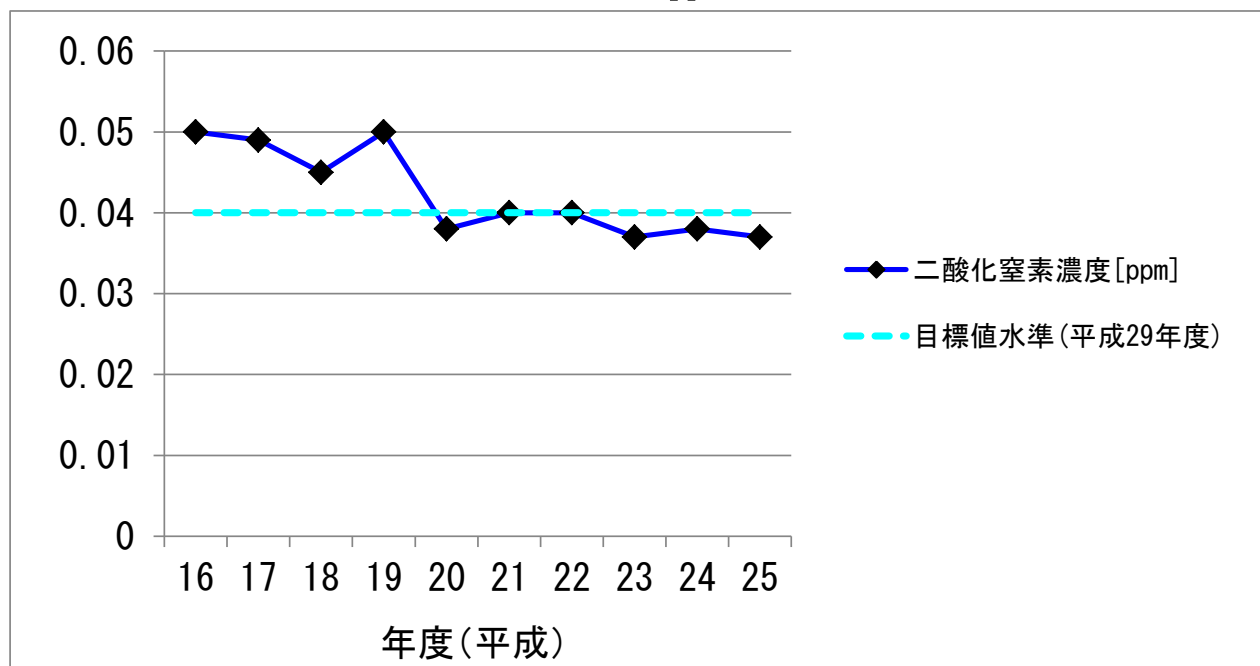
各環境要素の評価一覧

環境要素	指標項目	現況値及び目標値	H24 年度数値	H25 年度数値	達成度
①空気	二酸化窒素濃度	18年値 0.045ppm	0.038ppm	0.037ppm	○
		目標値 0.04ppm 以下			
②水	BOD (生物化学的酸素要求量)	18年値 境川 2.5mg/1 引地川 1.5mg/1	境川 1.4mg/1 引地川 0.8mg/1	境川 2.8mg/1 引地川 2.3mg/1	○
		目標値境川 3.0mg/1 以下 引地川 2.0mg/1 以下			
③音	騒音に係る環境基準の達成率	18年値 17%	33%	83%	△
		目標値 100%			
④美化	「美化」に関する環境が良いと思う市民の割合	19年値 10%	21%	22%	△
		目標値 25%			
⑤緑	緑地率	18年値 18.0%	16.7%	16.6%	×
		目標値 20.4%			
⑥生物	「生物」に関する環境が良いと思う市民の割合	19年値 21%	30%	30%	△
		目標値 45%			
⑦景観	市内でミンミンゼミの生息が確認されていること	18年値 生息を確認	1=生息を確認	1=生息を確認	○
		目標値 生息を確認			
⑧安全	「景観」に関する環境が良いと思う市民の割合	19年値 9%	11%	12%	△
		目標値 25%			
⑨産業	各環境中の基準濃度を超過した有害化学物質数	18年値 4種類	3種	3種	△
		目標値 0種類			
⑩基地	環境マネジメントシステム導入事業所数	18年値 55事業所	36事業所	37事業所	△
		目標値 300事業所			
⑪都市空間	航空機騒音に係る環境基準の達成率	18年値 0%	0%	0%	×
		目標値 100%			
⑫地球環境	一人当たりの都市公園等面積	18年値 5.89m <sup>2</sup>	6.39 m <sup>2</sup>	6.37 m <sup>2</sup>	△
		目標値 6.7m <sup>2</sup>			
⑬水循環	二酸化炭素の排出量	18年値 23.6万 t-C	22.2万 t-C	22.1万 t-C	△
		目標値 17.3万 t-C			
⑭資源	河川流量	18年値境川 2.45 m <sup>3</sup> /秒 引地川 0.78 m <sup>3</sup> /秒	境川 2.65 m <sup>3</sup> /秒 引地川 0.49 m <sup>3</sup> /秒	境川 2.04 m <sup>3</sup> /秒 引地川 0.62 m <sup>3</sup> /秒	△
		目標値 境川 3.5 m <sup>3</sup> /秒 引地川 1.0 m <sup>3</sup> /秒			
⑮エネルギー	雨水貯留槽購入費補助申請件数	18年値 159件 (基)	327件 (基)	365件 (基)	△
		目標値 500件 (基)			
⑯学習・参加・協働	資源化率	18年値 22.9%	21.9%	22.5%	△
		目標値 32.1%			
⑰市民一人一日当たりごみ排出量	市民一人一日当たりごみ排出量	18年値 529g	459g	457g	△
		目標値 412g			
⑱公共施設における再生可能エネルギー利用設備の導入	やまとみどりの学校プログラムへの参加校	19年値 7施設	23	25	△
		目標値 全施設			
⑳環境保全に取り組む人達が多いと感じる市民の割合	やまとみどりの学校プログラムへの参加校	18年値 23校	28校	28校	○
		目標値 市内全校			
㉑環境保全に取り組む人達が多いと感じる市民の割合	環境保全に取り組む人達が多いと感じる市民の割合	19年値 19%	19%	19%	△
		目標値 19%			

環境要素 1：空気

目標：深呼吸したくなるまち

全体の数値目標：二酸化窒素濃度 0.04ppm



【本年度の評価】昨年度と変わらない

【評価の理由】昨年度と同水準で目標を達成している

【目標の確認のための取組】常時監視測定局の大和市役所における、二酸化窒素濃度年間98%値(環境基準)の経年変化

項目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
二酸化窒素濃度[ppm] →評価: 予定通りに進んでいる	0.040	0.040	0.037	0.038	0.037	0.04

◎到達目標以上に進んだ取組の数 :1

○到達目標どおりに進んだ取組の数:20

△到達目標に届かなかった取組の数:0

－その他の状況の取組の数 :1

《平成 25 年度の取組事例》

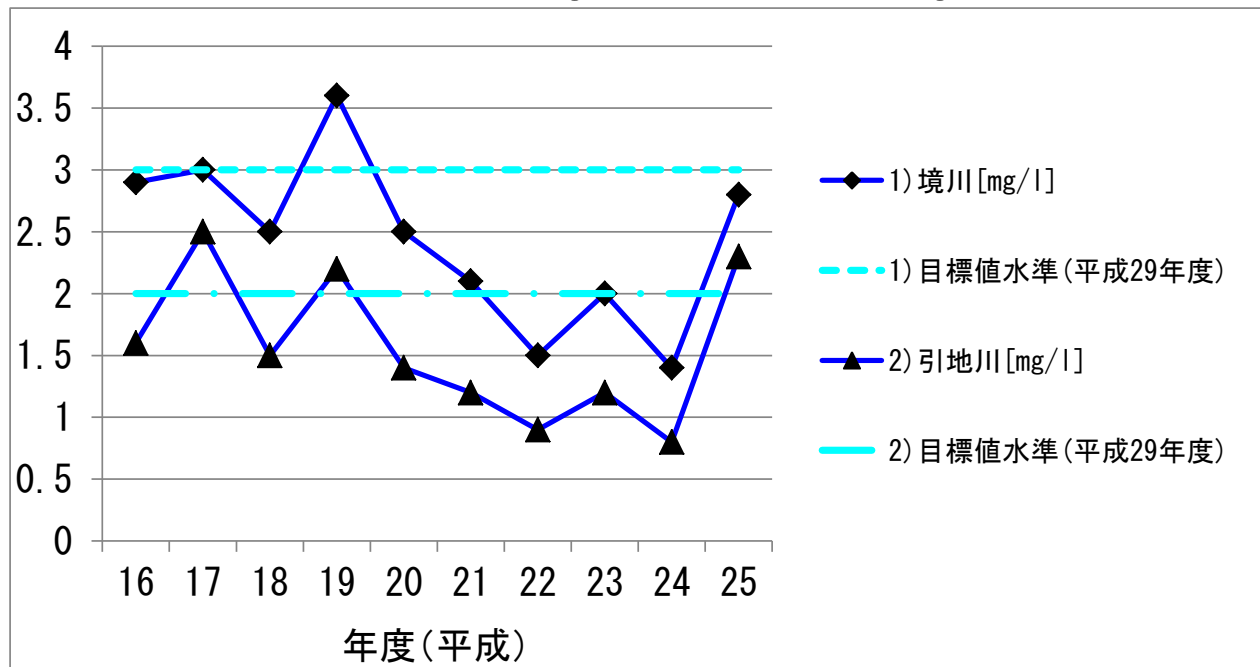
- ・ 駐輪場の利用状況は良好であり、市内各駅の放置自転車台数は平均 148 台/日で、目標台数の 190 台/日より減少している。(◎)
- ・ コミュニティバス' のろっと' の運行を継続するとともに、更なる利便性向上のため、コミュニティバス新路線開設の計画を立案し実験運行を行った。(○)
- ・ 簡易測定法による窒素酸化物濃度の測定を年 2 回市内 32 ヲ所で実施した。(○)

環境要素 2：水

目標：きれいな川のあるまち

全体の数値目標：BOD(生物化学的酸素要求量)

境川 3.0mg/l ・ 引地川 2.0mg/l



【本年度の評価】昨年度と変わらない

【評価の理由】目標を達成した

【目標の確認のための取組】河川の水質測定

項目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
境川[mg/l] →評価: 予定通りに進んでいる	2.1	1.5	2.0	1.4	2.8	3.0
引地川[mg/l] →評価: 予定通りに進んでいる	1.2	0.9	1.2	0.8	2.3	2.0

◎到達目標以上に進んだ取組の数 :0

○到達目標どおりに進んだ取組の数:12

△到達目標に届かなかった取組の数:1

—その他の状況の取組の数 :2

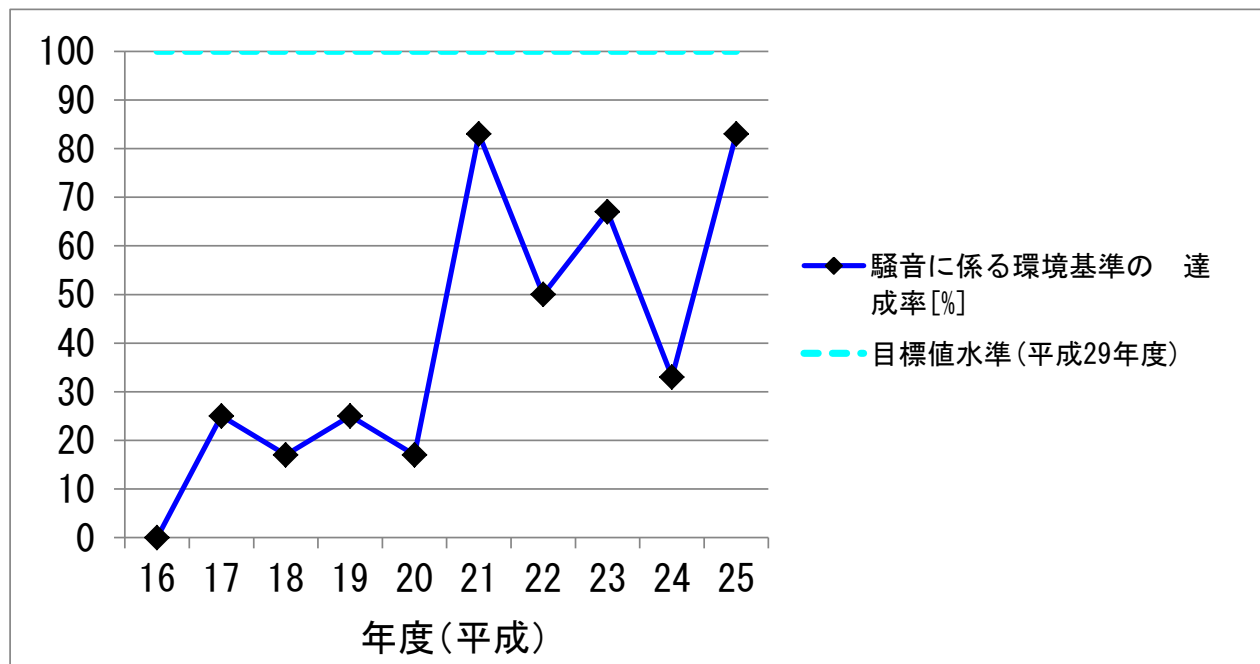
《平成 25 年度の取組事例》

- ・水質汚濁防止法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づき、のべ 54 事業所について立入調査を行い、28 件について水質検査を実施した。そのうち 1 事業所で水質基準違反があった。(△)
- ・下水道供用開始区域内の未接続家屋を把握し、水洗便所への改造や未水洗家屋の建て替えにより、水洗化が図れた。(○)

### 環境要素 3：音

目標：静けさを感じるまち

全体の数値目標：騒音に係る環境基準の達成率 100%



【本年度の評価】昨年度と変わらない

【評価の理由】環境基準を満足している地点数が減少したため

【目標の確認のための取組】幹線交通を担う道路における騒音測定

項目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
騒音に係る環境基準の達成率[%] →評価: 予定通りに進んでいる	83	50	67	33	83	100

◎到達目標以上に進んだ取組の数 :0

○到達目標どおりに進んだ取組の数:11

△到達目標に届かなかった取組の数:0

—その他の状況の取組の数 :2

《平成 25 年度の取組事例》

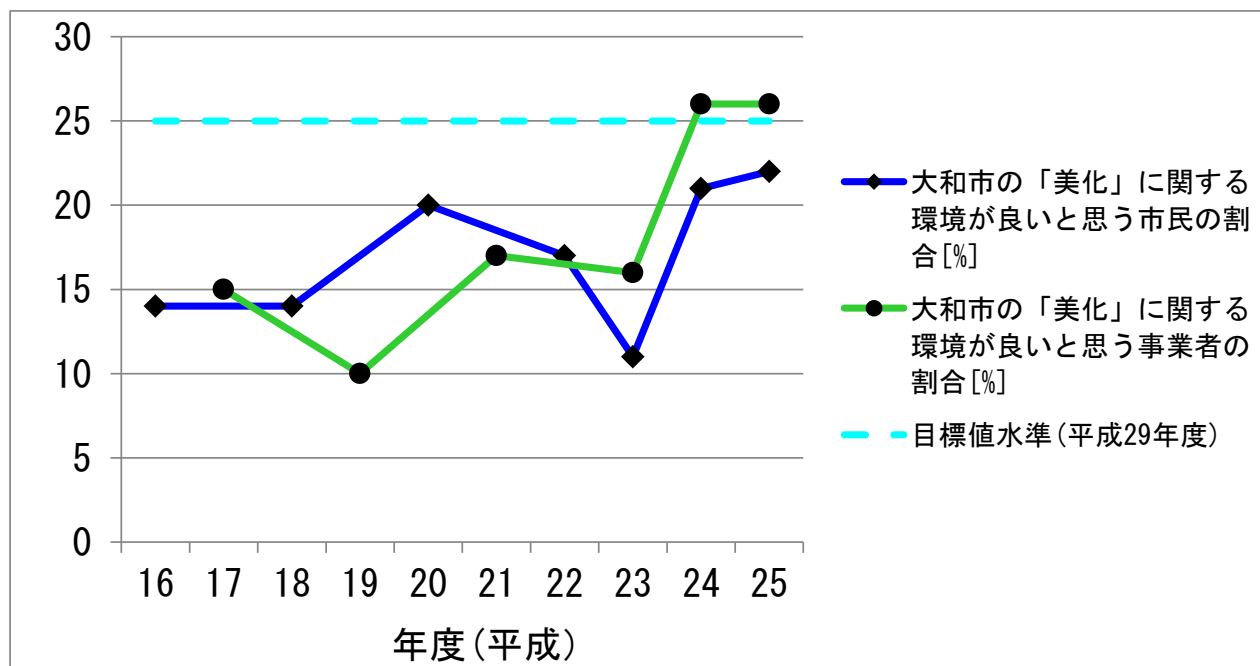
- ・開発協議等において、67 事業者に対し特定建設作業の届出の指導を行った。(○)
- ・建設作業に伴う騒音・振動苦情 13 件について実態を調査し、事業者を指導した。(○)
- ・飲食店等への騒音苦情 6 件について、実態調査を実施し、事業者に指導を行った。(○)



## 環境要素 4：美化

目標：散乱ごみのないきれいなまち

全体の数値目標：大和市の「美化」に関する環境が良いと思う市民の割合 25%



【本年度の評価】昨年度と変わらない

【評価の理由】昨年度と大きな変化がないため

【目標の確認のための取組】市民・事業者アンケート

項目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
大和市の「美化」に関する環境が良いと思う市民の割合[%] →評価: 予定通りに進んでいる	-	17	11	21	22	25
大和市の「美化」に関する環境が良いと思う事業者の割合[%] →評価: 予定通りに進んでいる	17	-	16	26	26	25

◎到達目標以上に進んだ取組の数 :2

○到達目標どおりに進んだ取組の数:12

△到達目標に届かなかった取組の数:0

—その他の状況の取組の数 :0

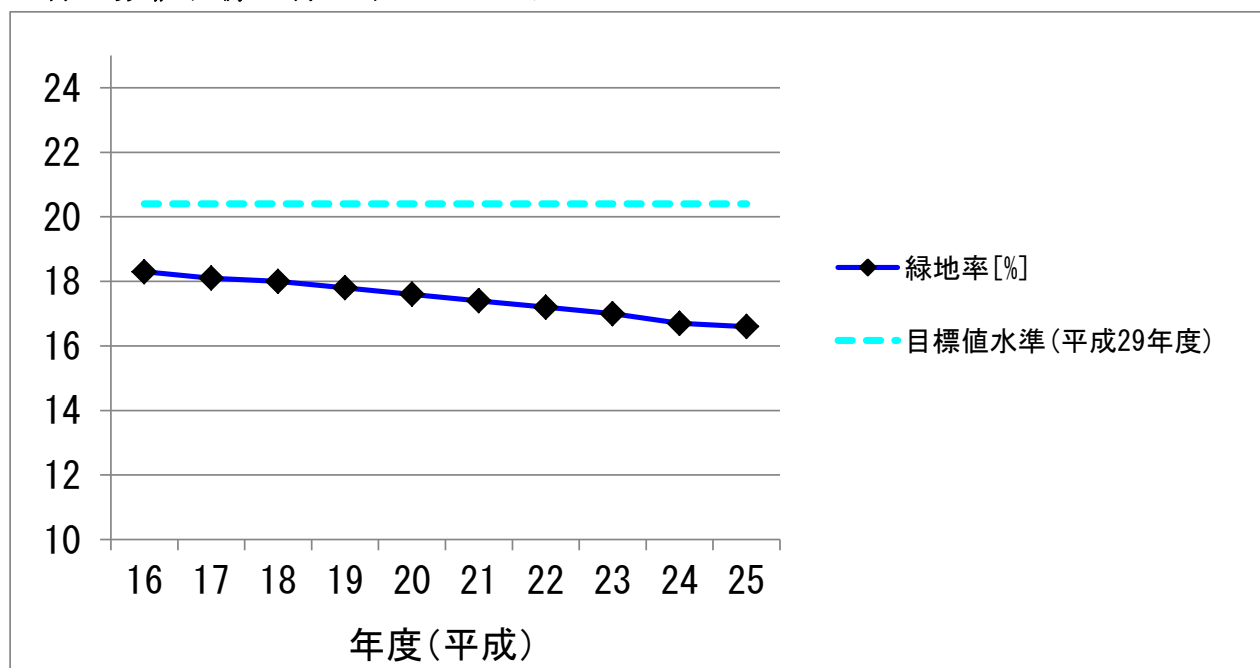
《平成 25 年度の取組事例》

- ・不法投棄防止の啓発看板等の作成やパトロールを行うとともに、ボランティア袋を市民に配布し散乱ごみや不法投棄防止のための意識啓発を行った。(○)
- ・年間クリーンキャンペーンとして、清掃の日、例月まち並み清掃、美化推進月間クリーンキャンペーンを実施した。(○)
- ・道路等環境美化活動の団体登録数を4団体増やすことができた。(○)

環境要素 5：緑

目標：緑豊かなまち

全体の数値目標：緑地率 20.4%



【本年度の評価】昨年度よりやや目標から遠ざかった

【評価の理由】宅地化の進展により、僅かずつ緑地の減少が続いている

【目標の確認のための取組】固定資産税統計表により緑の割合を把握

項目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
緑地率[%] →評価: 予定よりやや遅れている(目標値から遠ざかっている。)	17.4	17.2	17.0	16.7	16.6	20.4

◎到達目標以上に進んだ取組の数 :2

○到達目標どおりに進んだ取組の数:15

△到達目標に届かなかった取組の数:1

—その他の状況の取組の数 :1

《平成 25 年度の取組事例》

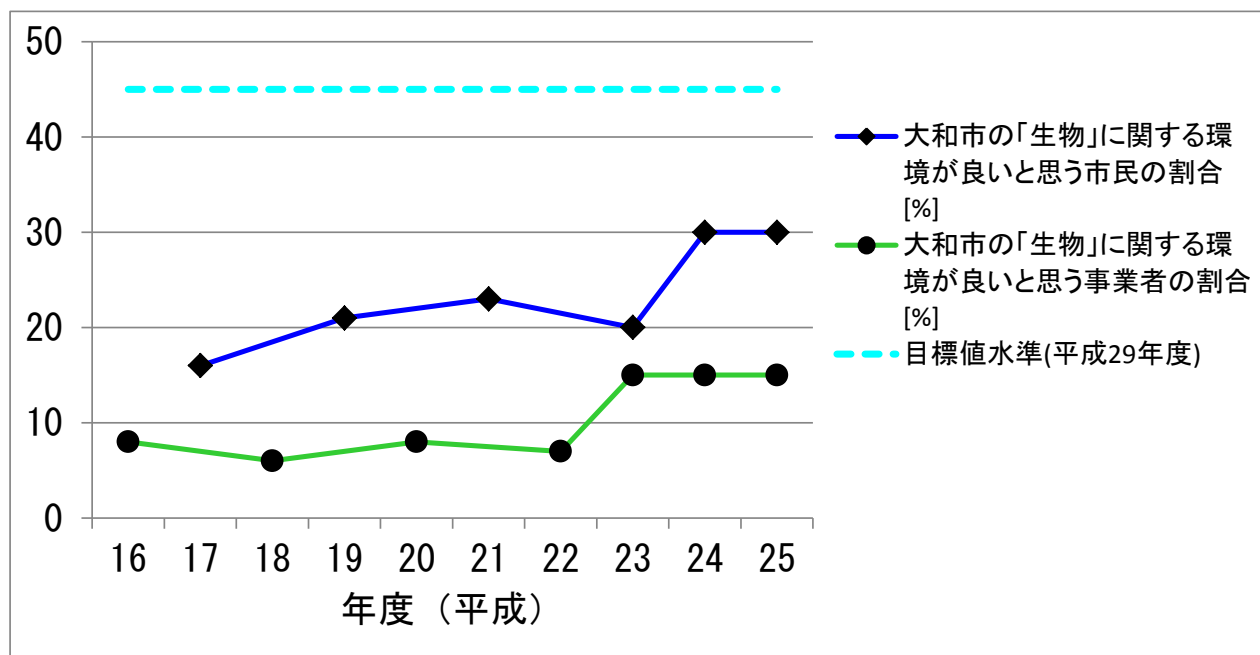
- ・土地保有者と保存協定の継続を行ったが、保存樹林等の協定解除があった。(△)
- ・市民農園 19 箇所 26015 m<sup>2</sup>と、観光花農園 8 箇所 16343 m<sup>2</sup>の農地を保全管理し、市民に提供した。(○)
- ・新たな愛護会が設置できるように誘導及び各愛護会を継続して支援できた。(○)



## 環境要素 6：生物

目標：多様な生物とのふれあいのあるまち

全体の数値目標：大和市の「生物」に関する環境が良いと思う市民の割合 45%



【本年度の評価】昨年度と変わらない

【評価の理由】昨年度の結果と変わらないため

【目標の確認のための取組】市民・事業者アンケート

項目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
大和市の「生物」に関する環境が良いと思う市民の割合[%] →評価: 予定よりやや遅れている	23	-	20	30	30	45
大和市の「生物」に関する環境が良いと思う事業所の割合[%] →評価: 予定よりやや遅れている	-	7	15	15	15	45

◎到達目標以上に進んだ取組の数 :0

○到達目標どおりに進んだ取組の数:8

△到達目標に届かなかった取組の数:0

—その他の状況の取組の数 :1

《平成 25 年度の取組事例》

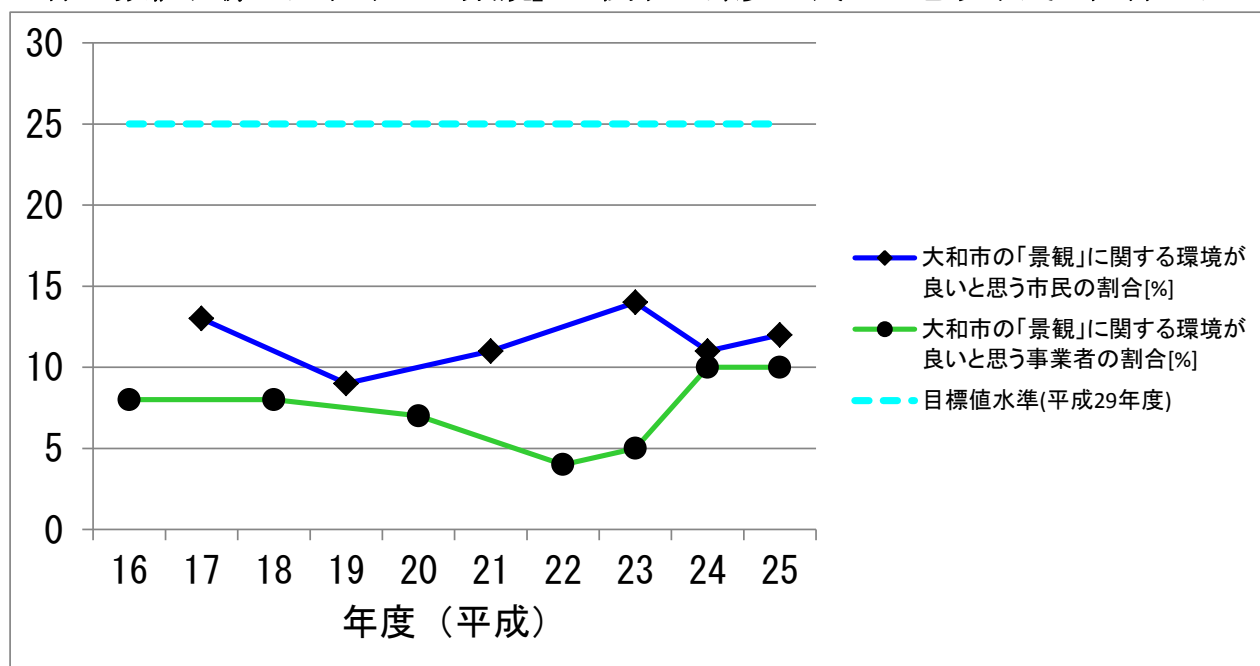
・市内に生息する野生動植物を調査する市民環境調査として、7月～9月にセミのぬけがら調査を実施し、ミンゼミ等の生息状況を把握した。(○)

・野生動植物の保護の推進のため、緑地等の保全管理及び傷病鳥獣保護を9件行った。(○)

## 環境要素 7：景観

目標：魅力ある街並み

全体の数値目標：大和市の「景観」に関する環境が良いと思う市民の割合 25%



【本年度の評価】昨年度と変わらない

【評価の理由】昨年度の結果と変化がないため

【目標の確認のための取組】市民・事業者アンケート

項目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
大和市の「景観」に関する環境が良いと思う市民の割合[%] →評価: 予定よりかなり遅れている	11	-	14	11	12	25
大和市の「景観」に関する環境が良いと思う事業者の割合[%] →評価: 予定よりかなり遅れている	-	4	5	10	10	25

◎到達目標以上に進んだ取組の数 :0

○到達目標どおりに進んだ取組の数:5

△到達目標に届かなかった取組の数:1

—その他の状況の取組の数 :4

《平成 25 年度の取組事例》

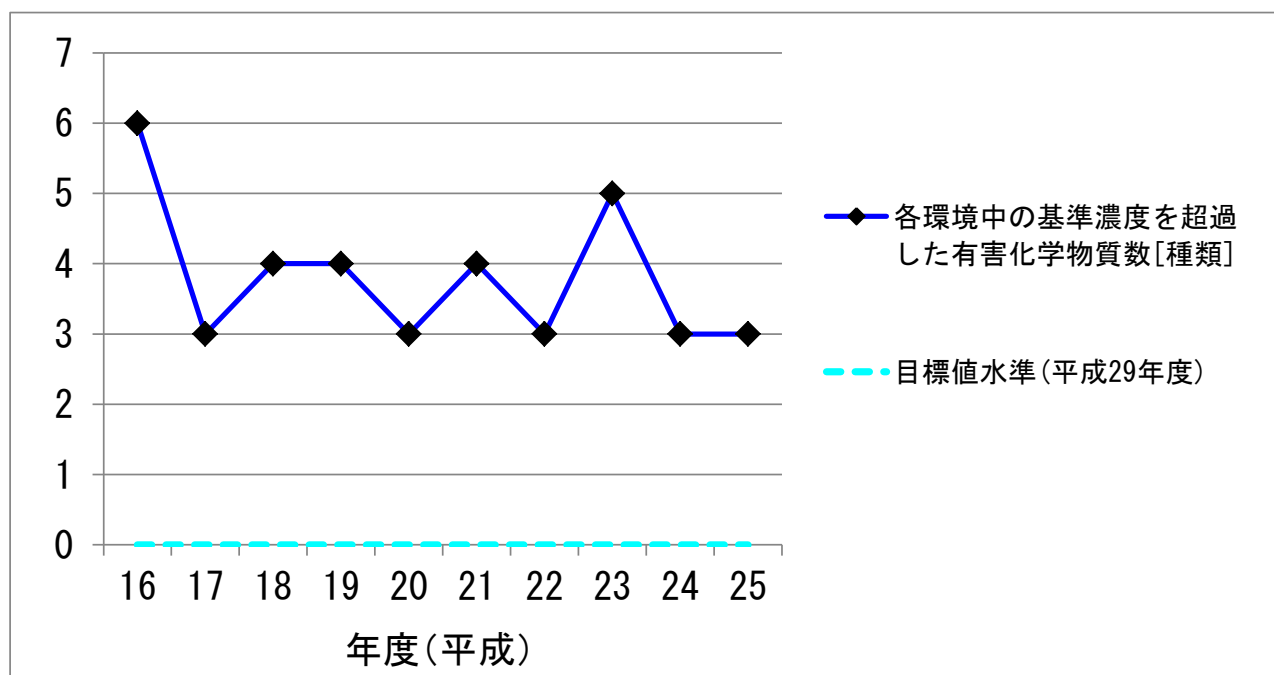
・文化財保護活動の一環として、樹木健康診断を行うこととしているが、平成 25 年度は実施できなかった。(△)

・ゆとりある歩道の確保や、歩道と車道の区画部の改善のため、162 m<sup>2</sup>の用地を買収し、高齢者や障がい者や子供など誰もが安心して歩ける道づくりを進めた。(○)

## 環境要素 8：安全

目標：安心して生活できるまち

全体の数値目標：各環境中の基準濃度を超過した有害化学物質数0種類



【本年度の評価】昨年度と変わらない

【評価の理由】有害物質数が減少したため

【目標の確認のための取組】各環境中の基準濃度と超過した有害化学物質数の測定

項目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
各環境中の基準濃度を超過した有害化学物質数種類 →評価: 予定通りに進んでいる	4	3	5	3	3	0

◎到達目標以上に進んだ取組の数 :0

○到達目標どおりに進んだ取組の数:21

△到達目標に届かなかった取組の数:2

—その他の状況の取組の数 :1

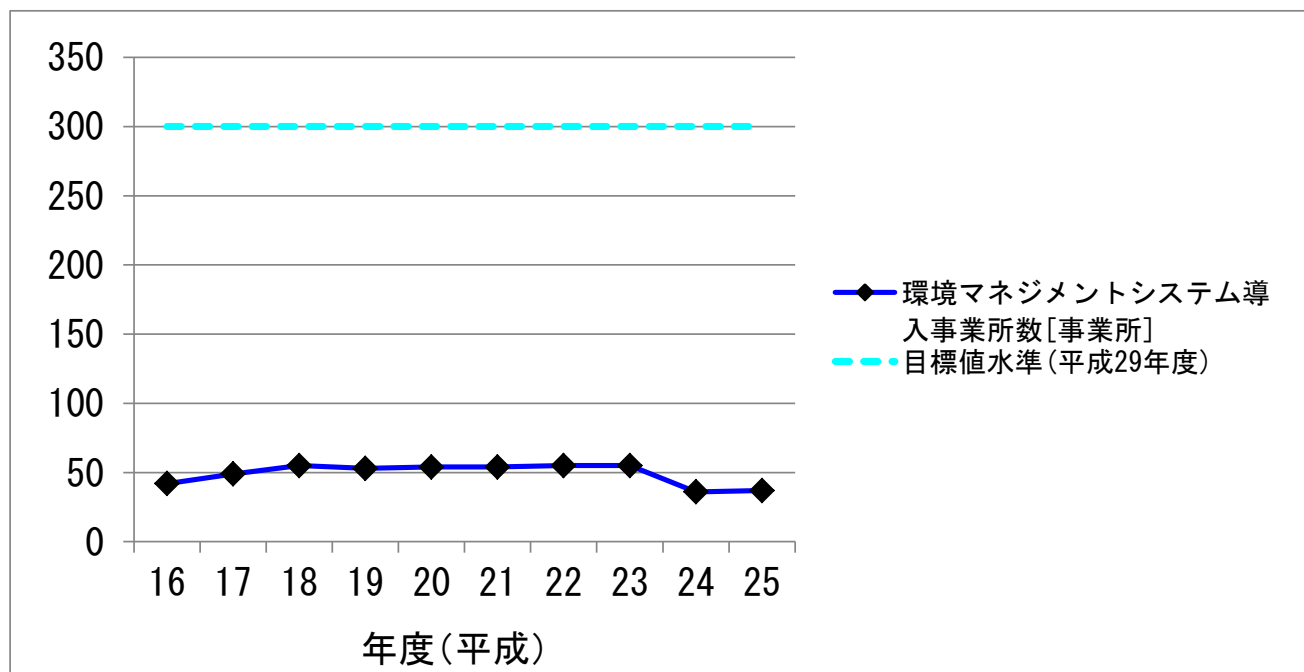
### 《平成 25 年度の取組事例》

- ・北部学校給食共同調理場の耐震改修工事を実施する予定だったが、契約不調により、未実施となった。(△)
- ・災害廃棄物の処理計画について、南関東地震編素案を作成する予定だったが、国・県の計画策定指針が見直し中であったため、取り組みに至らなかった。(△)
- ・14 事業所について立入調査を実施し、化学物質に対する情報提供や、使用者に対する調査を実施した。(○)
- ・廃棄物処理施設周辺のダイオキシン類（大気）及び地下水質の調査を行ったところ、ダイオキシン類及び地下水について環境基準を超過している項目はなかった。(○)

## 環境要素 9：産業

目標：農・工・商の調和するまち

全体の数値目標：環境マネジメントシステム導入事業所数 300 事業所



【本年度の評価】昨年度と変わらない

【評価の理由】昨年度より市内の ISO14001 規格取得事業所の数は昨年度と同等であったため

【目標の確認のための取組】市内の ISO14001 規格取得事業所の調査による

項目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
環境マネジメントシステム導入事業所数[事業所] →評価: 予定よりかなり遅れている	54	55	55	36	37	300

◎到達目標以上に進んだ取組の数 :0

○到達目標どおりに進んだ取組の数:1

△到達目標に届かなかった取組の数:1

—その他の状況の取組の数 :8

《平成 25 年度の取組事例》

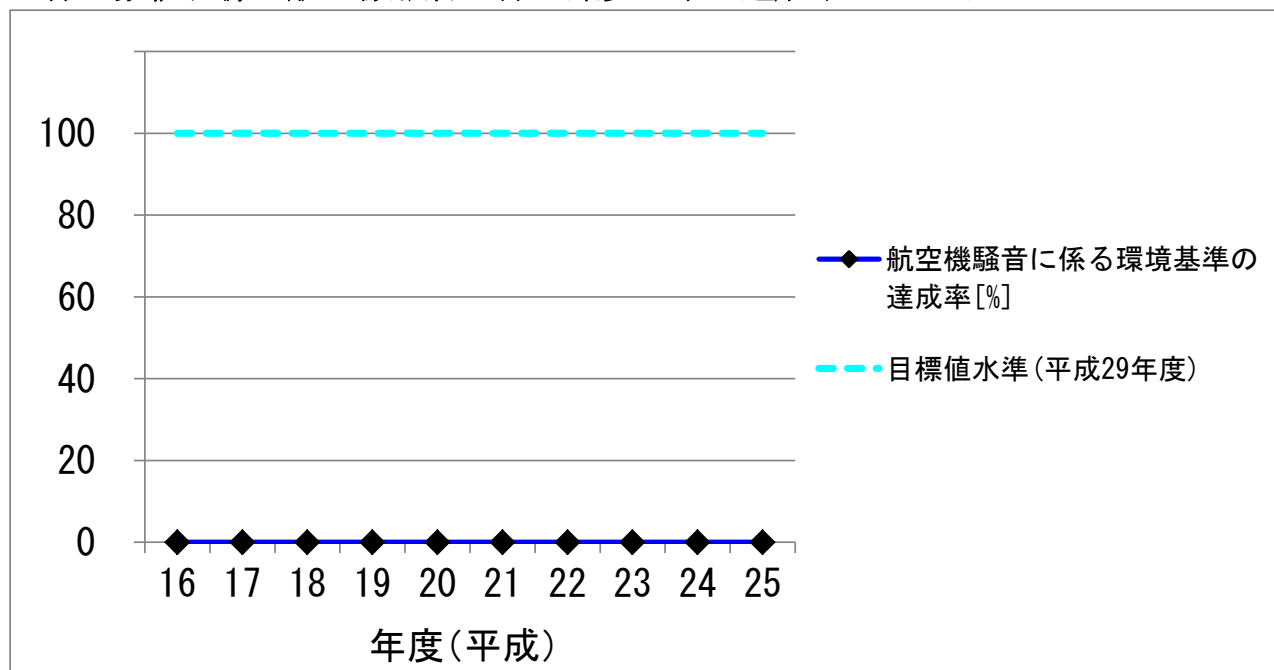
・平成 25 年度の環境保全型農業直接支援申請件数は 0 件であった。(△)

・農業後継者を育成するため、さがみ農業協同組合が行う各種営農指導等を支援し、事業に対して補助金を交付した。(○)

## 環境要素 10：基地

目標：航空機騒音のないまち

全体の数値目標：航空機騒音に係る環境基準の達成率 100%



【本年度の評価】昨年度と変わらない

【評価の理由】日米両国間の条約により、国が米軍に施設を提供していることに起因する航空機騒音であり、厚木基地を取り巻く状況は大きく変わっていない

【目標の確認のための取組】騒音測定

項目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
航空機騒音に係る環境基準の達成率 [%] →評価: 予定よりやや進んでいる(前年度同様、本年度も5ヶ所全てが環境基準を満たさなかった。(県の調査結果の公表が間に合わないため、入力は1年遅れになる。)(昨年度記載内容)	0	0	0	0	0	100

◎到達目標以上に進んだ取組の数 :0

○到達目標どおりに進んだ取組の数:15

△到達目標に届かなかった取組の数:0

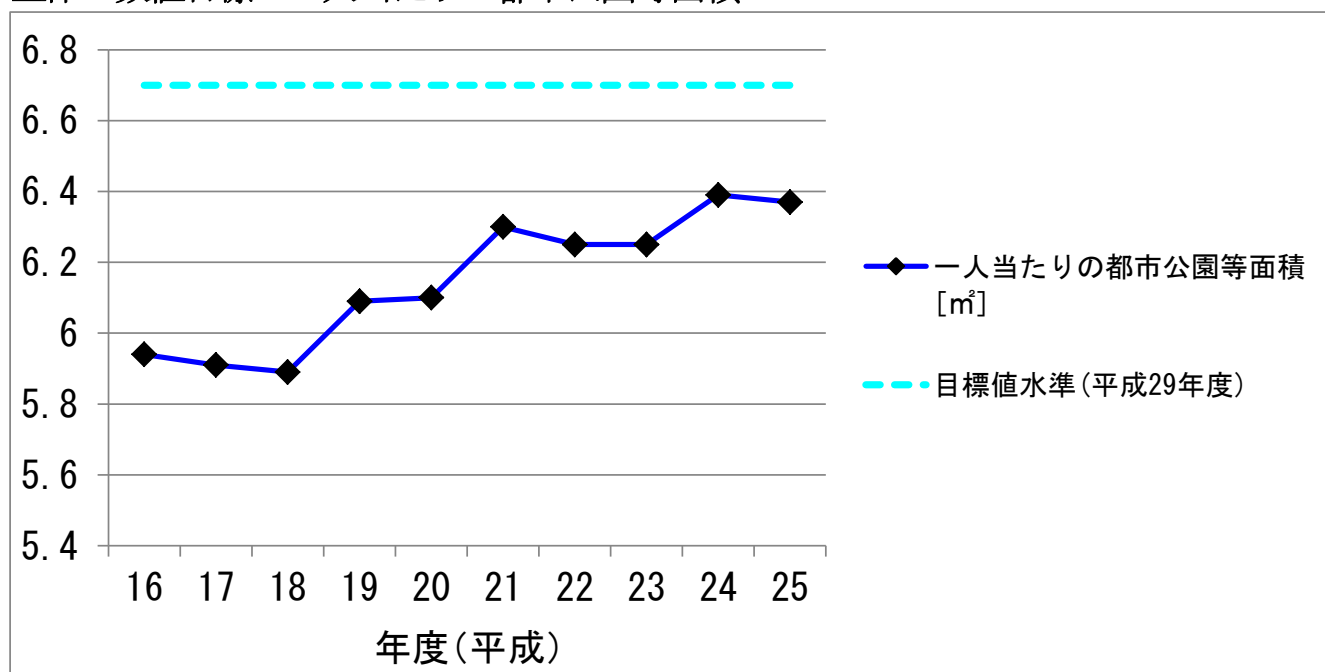
《平成 25 年度の取組事例》

- ・大和市基地対策協議会、厚木基地騒音対策協議会、神奈川県基地関係県市連絡協議会による平成 25 年度の要請活動、及びNLP 実施時の要請活動を行い、NLP の硫黄島全面移転への要請を継続した。(○)
- ・基地機能の縮小化への働きかけについて、大和市基地対策協議会、神奈川県基地関係県市連絡協議会による要請内容に盛り込んだ。(○)

## 環境要素 11：都市空間

目標：都市空間のゆとりのあるまち

全体の数値目標：一人当たりの都市公園等面積 6.7m<sup>2</sup>



【本年度の評価】昨年度よりやや目標から遠ざかった

【評価の理由】人口の増加に応じた面積にほぼ対応している面積の公園整備を行っている

【目標の確認のための取組】「緑の基本計画」の目標水準に沿って取り組んだ

項目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
一人当たりの都市公園等面積[m <sup>2</sup> ]	6.3	6.25	6.25	6.39	6.37	6.7
→評価: 予定よりやや遅れている						

◎到達目標以上に進んだ取組の数 :1

○到達目標どおりに進んだ取組の数:16

△到達目標に届かなかった取組の数:1

—その他の状況の取組の数 :4

《平成 25 年度の取組事例》

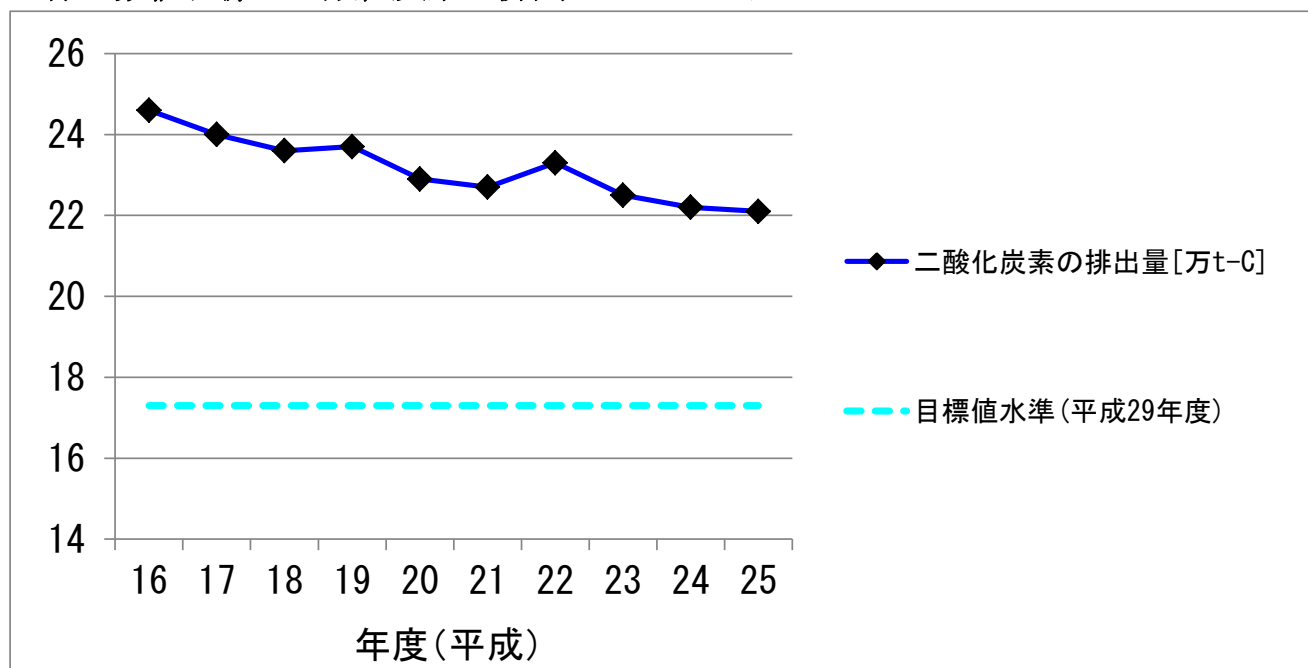
- ・現状の保存樹林面積を維持するため、市街化区域内の樹林地を保存樹林として指定しているが、協定期間満了や相続による協定の解除があった。(△)
- ・開発等に伴う環境問題の発生を未然に防止するため、開発事業の適正な指導を行い(事前協議件数 78 件)、良好な生活環境の確保に努めた。(○)



## 環境要素 12：地球環境

目標：地球市民としての自覚を持って行動するまち

全体の数値目標：二酸化炭素の排出量 17.3 万 t-C



【本年度の評価】昨年度と変わらない

【評価の理由】排出量が昨年度と同等であった

【目標の確認のための取組】市内のエネルギー供給量調査に基づく温室効果ガス排出量算定結果(推計値)による

項目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
二酸化炭素の排出量[万t-C]	227	233	225	222	221	173
→評価: 予定よりやや遅れている						

◎到達目標以上に進んだ取組の数 :0

○到達目標どおりに進んだ取組の数:10

△到達目標に届かなかった取組の数:1

《平成 25 年度の取組事例》

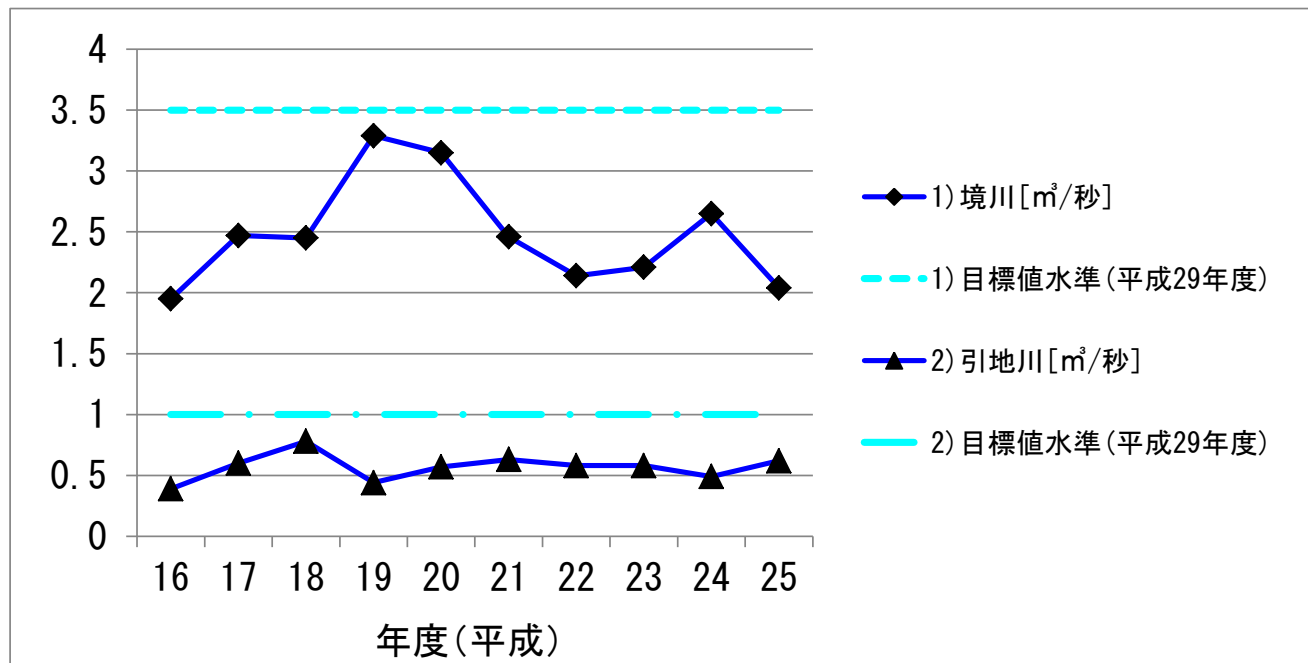
- ・やまと EMS により、公共施設での省エネに関する取り組みを促し、省エネを推進した。(○)
- ・自然エネルギーの普及を促すため、住宅用太陽光発電システム設置費補助を行ったが、目標件数に満たなかった。(△)
- ・公共交通機関の利用及び自転車や徒歩による交通への移行を促すため、自転車通行帯を 4.2km 整備した。(○)

環境要素 13：水循環

目標：水との親しみのあるまち

全体の数値目標：河川流量

境川 3.5m<sup>3</sup>/秒 引地川 1.0m<sup>3</sup>/秒



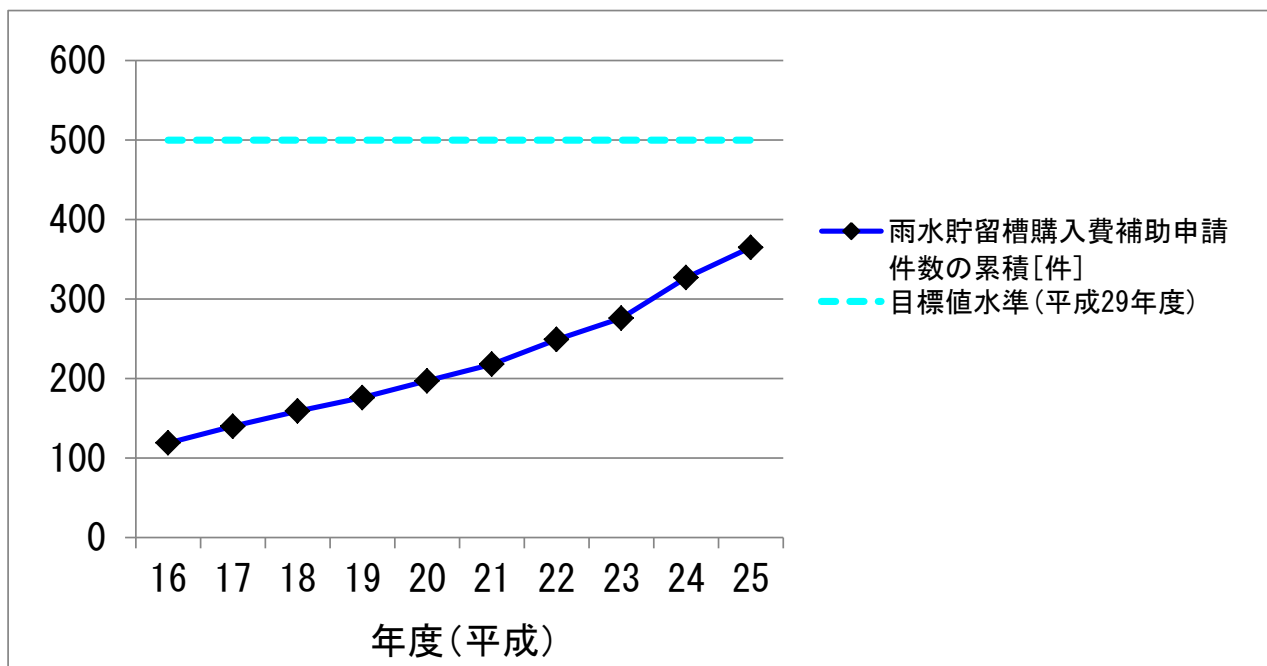
【本年度の評価】昨年度と変わらない

【評価の理由】水と親しめる空間ができている

【目標の確認のための取組】境川・引地川の流量測定

項目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
境川[m <sup>3</sup> /秒] →評価: 予定通りに進んでいる	246	214	221	265	204	35
引地川[m <sup>3</sup> /秒] →評価: 予定通りに進んでいる	0.63	0.58	0.58	0.49	0.62	1.0

全体の数値目標：雨水貯留槽購入費補助申請件数の累積 500 件



【本年度の評価】予定通りに進んでいる

【評価の理由】申請基数が順調に増加している

【目標の確認のための取組】雨水貯留槽購入費用補助申請件数

項目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
雨水貯留槽購入費補助申請件数の累積件 →評価: 予定通りに進んでいる	218	249	276	327	365	500

◎到達目標以上に進んだ取組の数 :0

○到達目標どおりに進んだ取組の数:11

△到達目標に届かなかった取組の数:1

—その他の状況の取組の数 :4

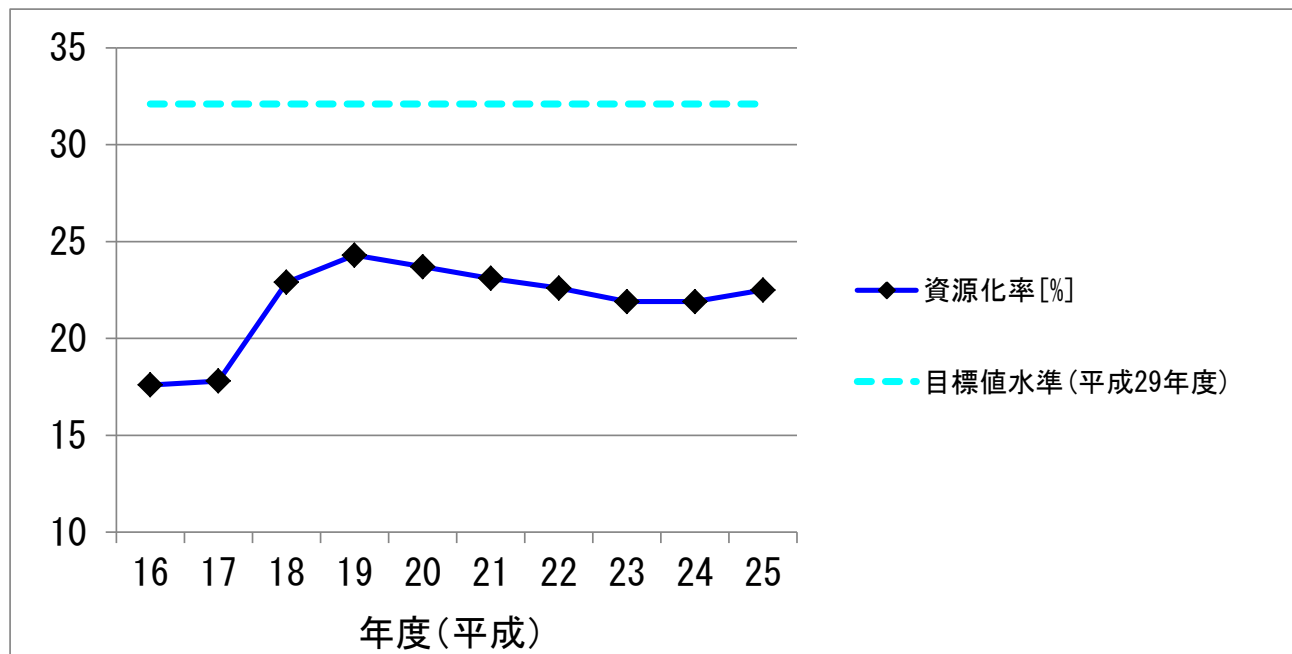
《平成 25 年度の取組事例》

- ・雨水の利用を進めるため、雨水貯留槽購入費補助制度を実施し、38 基に対して補助金を交付した。(○)
- ・立ち入りした 14 事業所について、神奈川県生活環境の保全等に関する条例、水質汚濁防止法、土壤汚染対策法に基づき、地下水汚染の未然防止等について指導した (○)
- ・市内 26 地点で地下水水質調査を実施したところ、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が 3 地点で、テトラコロチンが 3 地点で環境基準を超過していた。(△)

環境要素 14：資源

目標：物質循環のなされているまち

全体の数値目標：資源化率 32.1%



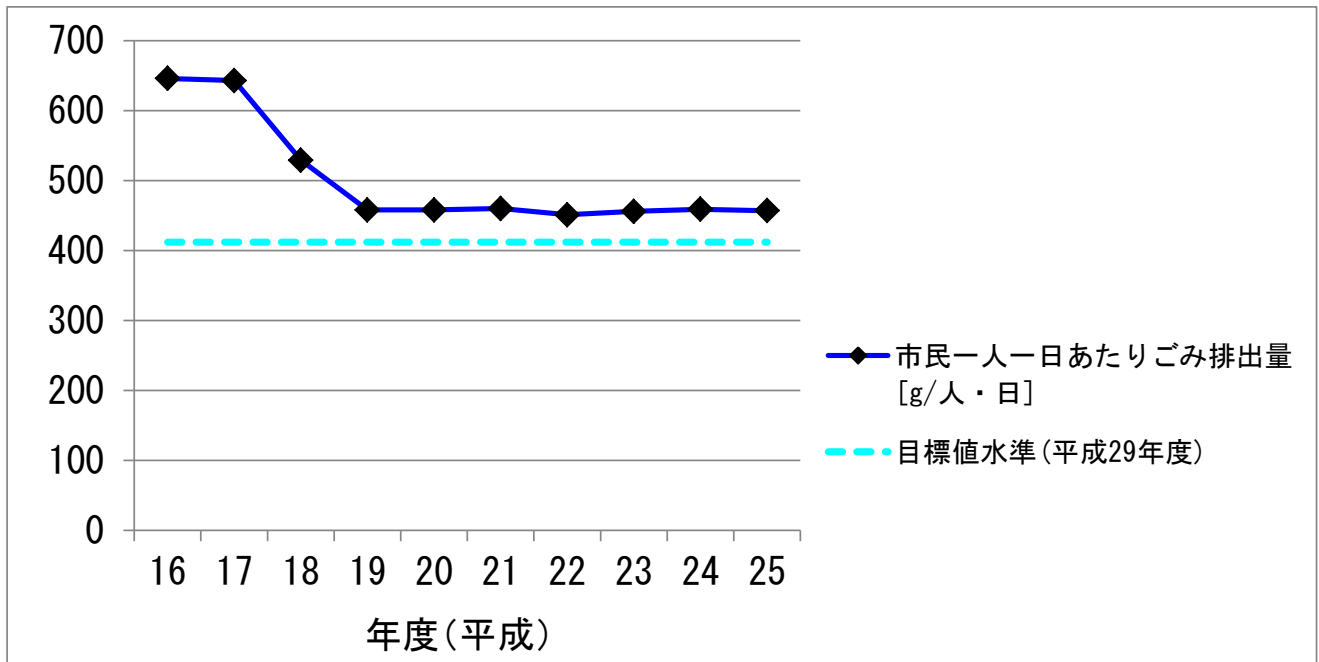
【本年度の評価】昨年度と変わらない

【評価の理由】総ごみ排出量及び総資源化量の集計

【目標の確認のための取組】総ごみ排出量及び総資源化量の集計

項目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
資源化率[%] →評価:予定通りに進んでいる	23.1	22.6	21.9	21.9	22.5	32.1

全体の数値目標：市民一人一日あたりごみ排出量 412g/人・日



【本年度の評価】昨年度と変わらない

【評価の理由】昨年度と同様に目標値に近い水準を維持している

【目標の確認のための取組】市民一人一日あたりごみの排出量

項目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
市民一人一日あたりごみ排出量[g/人・日] →評価: 予定通りに進んでいる	460	451	456	459	457	412

◎到達目標以上に進んだ取組の数 :0

○到達目標どおりに進んだ取組の数:24

△到達目標に届かなかった取組の数:3

—その他の状況の取組の数 :5

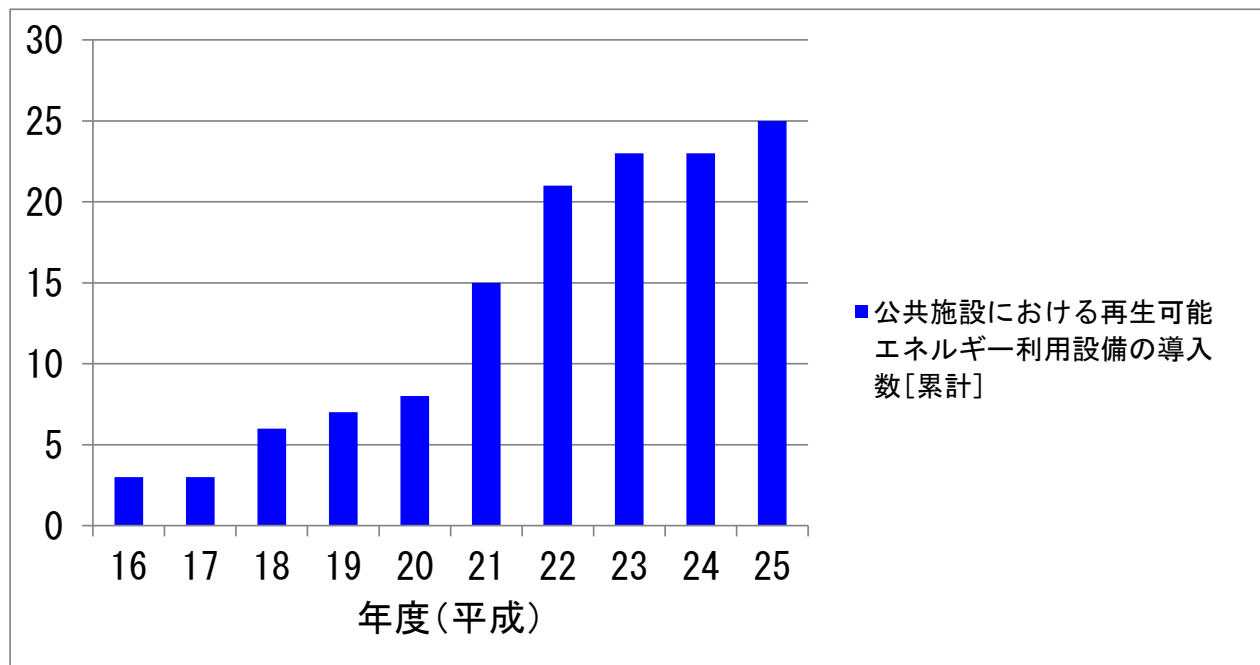
《平成 25 年度の取組事例》

- ・廃棄物処理技術の情報収集に努め、最終処分場の築造を目指したが、築造にいたらなかった。(△)
- ・再生資源の活用事例として学校給食単独調理校での適用事例を市ホームページに掲載する予定だったが、市ホームページへの掲載内容を更新できず、情報提供の拡大を図れなかった。(△)
- ・公共施設からの生ごみの堆肥化事業を進めるため、単独調理校7校の学校給食残渣を堆肥化した。(○)
- ・一般住宅・集合住宅での生ごみ処理容器利用を促進するため、電動式生ごみ処理機及びコンポスト容器等、計137基の補助を行ったが、補助件数が見込むより少なかった(△)

## 環境要素 15：エネルギー

目標：エネルギーを有効に利用しているまち

全体の数値目標：公共施設における再生可能エネルギー利用設備の導入数：全施設



【本年度の評価】昨年度よりやや目標に近づいた

【評価の理由】コミュニティセンター草柳会館に太陽光発電設備を導入したため

【目標の確認のための取組】公共施設における新エネルギーの活用状況の調査による

項目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
公共施設における再生可能エネルギー利用設備の導入数[施設]	15	21	23	23	25	全施設
→評価: 予定よりかなり遅れている						

◎到達目標以上に進んだ取組の数 :0

○到達目標どおりに進んだ取組の数:9

△到達目標に届かなかった取組の数:1

—その他の状況の取組の数 :1

### 《平成 25 年度の取組事例》

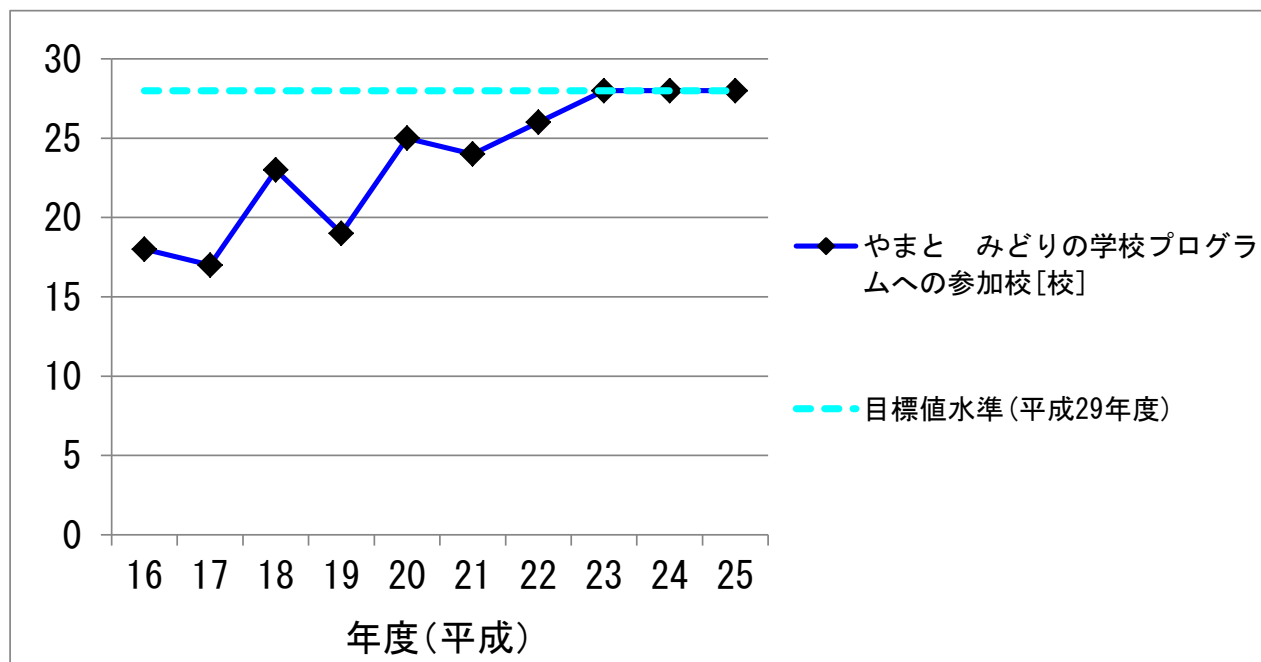
- ・草柳コミュニティセンターに太陽光発電設備を設置し、公共施設において自然エネルギーの導入を進めた。(○)
- ・自然エネルギーの普及を促すため、住宅用太陽光発電システム設置費補助を行ったが、目標件数に満たなかった。(△)
- ・ごみ処理施設や下水道等でのエネルギーの有効利用を図るため、焼却炉稼働計画を作成し、効率的発電を実施したところ、当初計画以上の発電量を確保した。(○)



環境要素 16：学習・参加・協働

目標：環境にやさしい市民のまち

全体の数値目標：やまと みどりの学校プログラムへの参加校 28校



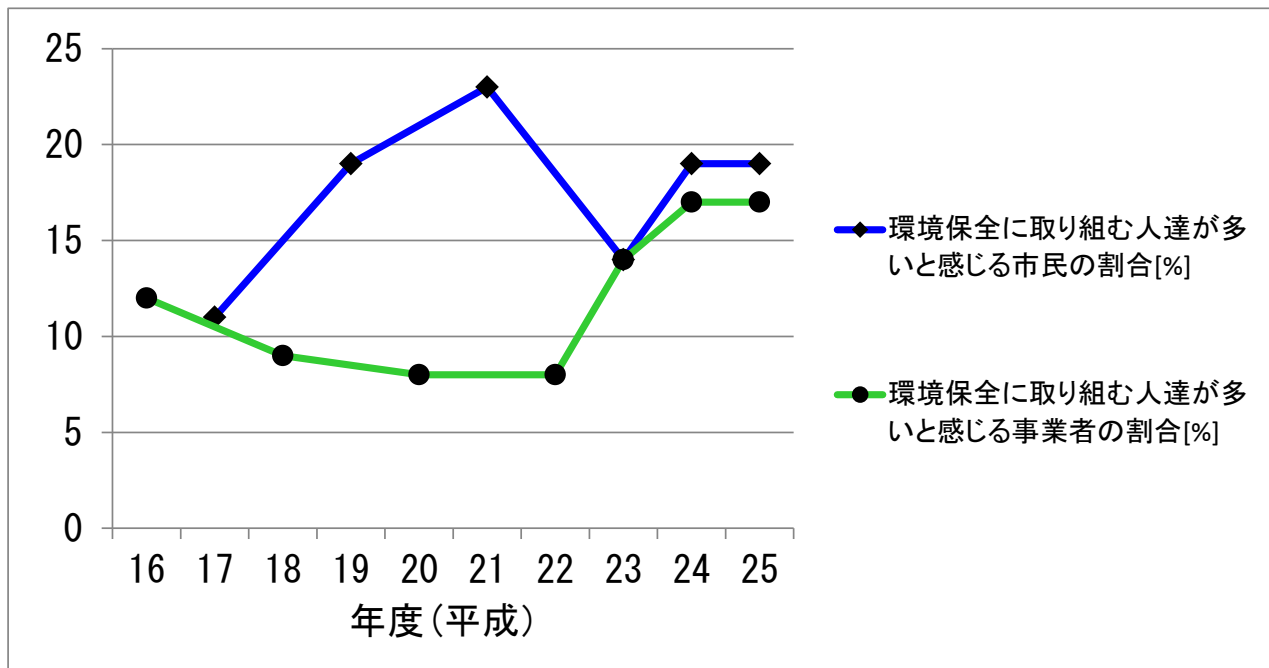
【本年度の評価】昨年度と変わらない

【評価の理由】全小中学校が参加しているため

【目標の確認のための取組】やまと みどりの学校プログラムへのエントリーの確認

項目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
やまと みどりの学校プログラムへの参加校[校] →評価：予定よりかなり進んでいる	24	26	28	28	28	28

全体の数値目標：環境保全に取り組む人達が多いと感じる市民の割合が前年度と比べ増加



【本年度の評価】昨年度と変わらない

【評価の理由】昨年度と同等であった

【目標の確認のための取組】市民・事業者アンケートの結果を反映する

項目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
環境保全に取り組む人達が多いと感じる市民の割合[%] →評価: 予定通りに進んでいる	23	-	14	19	19	昨年度より増加
環境保全に取り組む人達が多いと感じる事業所の割合[%] →評価: 予定通りに進んでいる	-	8	14	17	17	昨年度より増加

◎到達目標以上に進んだ取組の数 :0

○到達目標どおりに進んだ取組の数:19

△到達目標に届かなかった取組の数:0

《平成 25 年度の取組事例》

- ・環境学習に関する指導者の育成・支援を図るため、新規で環境講座を開設し、多くの市民が参加した。(○)
- ・やまとみどりの学校プログラムへのエントリーを呼びかけ、推進委員会の開催、環境総務課と協力して学校への支援、活動報告書の作成、登録証の発行を行った。(○)